

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

日本における血漿交換療法の現況調査(神経疾患)

J-POPPS(Japan-Plasmapheresis Outcome & Practice Patterns Study for Neurological Disease)

【研究責任者】

神経内科 高橋 祐二

【本研究の目的及び意義】

血漿交換療法は約30年に渡り広く実施されていますが、副作用の頻度等が明確になっていない他、治療回数や治療間隔、血漿交換療法の条件、方法、導入や離脱の判断は製造承認や保険適用の範囲内で、各施設の過去の経験に基づく裁量によって行われています。

そこで本研究では、血漿交換療法が施行された神経疾患患者に対する、血漿交換療法の最新の実態を調査するとともに、安全性および有効性について、血漿交換療法を多数実施している複数の施設において調査します。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

神経内科で血漿交換療法を施行された方

利用する試料・情報等

情報等:診療録(年齢・性別などの患者さんの背景、前治療(この病院に紹介される前の治療など)の内容および服用中のお薬、血漿交換療法の施行条件、副作用の有無、症状改善などの効果、血漿交換療法導入や離脱のタイミング、血液検査値などの診療情報)

研究期間

2017年8月24日より2019年9月

【研究参加施設】

施設名	研究責任者
国立病院機構 長崎川棚医療センター	松尾 秀徳
岩手医科大学附属病院	寺山 靖夫
埼玉医科大学総合医療センター	野村 恭一
千葉大学医学部附属病院	桑原 聡
順天堂大学医学部附属順天堂医院	服部 信孝
国立精神・神経医療研究センター病院	高橋 祐二
近畿大学医学部附属病院	楠 進
兵庫医科大学病院	芳川 浩男
鹿児島大学病院	高嶋 博

※今後、施設が追加となる可能性があります。その場合は、研究参加施設のリスト（研究計画書の別紙）を参照することで確認できます。

【共同研究者】

旭化成メディカル株式会社

医療製品開発本部 臨床開発部 メディカルアフェアーズグループ

役割: 文書類の作成、調査費用等の提供ならびに本研究に係る事務局業務

研究責任者: 小松 正和

2017年5月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 神経内科 氏名 林 幼偉

電話番号 :042-341-2711

e-mail : lin@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu@ncnp.go.jp